

2023 年度 部局 FD 活動報告

獣医学部・研究科

1. 各部局の FD の検討・実施体制を書いてください。（必ずご記入ください）		
「授業振り返り（授業アンケート）」への教員コメントの入力を推進した。 - 学部（学類）生（1～4 回生）の単位修得状況を保証人へ連絡するとともに、成績を把握することで学生に対する個別指導に役立てた。 - 複数の講義で独自に授業内容に関する学生へのアンケート調査を実施した。 - 卒業研究の実施内容等の改善のため、教員会議および委員会で議論を行い、その情報を全教員で共有した。 2023 年度の GPC 成績一覧表を教員間で共有し、最適化に向けて情報共有を行った。 - 著名な研究者を招聘し、獣医学専攻教員・学生の知識向上のための集談会を実施した。 - 獣医臨床センターの教員ならびにスタッフの飼い主様への対応を向上させるための研修を実施した。 - 獣医臨床センターの教員ならびにスタッフの臨床技術を向上させるために OPUVMC セミナーを実施した。 - 獣医臨床センターの教員ならびにスタッフに対して生命倫理と安全管理に関する研修を実施した。		
2. 教育改善・教育評価・FD に関する講演会、セミナー、ワークショップ等の開催		
開催日	内容（タイトル）	参加者数
5 月 30 日	第 19 回サイエンスカフェ at りんくう「Stem Cell Research in Veterinary Medicine（獣医療における幹細胞研究）」Dr. Amir Kol（カリフォルニア大学デイビス校獣医学部）	30 名
6 月 24 日	医療面接スーパーバイザー研修（医療面接実習を行う際のスーパーバイザーに関する研修）	40 名
9 月 12 日	第 2 回 FD「複数の担当教員による成績評価のバラツキから学べること」東 泰孝 先生(本学獣医学研究科)	300 人
11 月 25 日	医療面接スーパーバイザー研修（医療面接実習を行う際のスーパーバイザーに関する研修）	40 名
11 月 17 日	第 20 回サイエンスカフェ at りんくう「バイオインフォマティクスを駆使し、動物由来ウイルス感染症を監視する」川崎 純菜 先生（早稲田大学）	20 名
1 月 19 日	獣医学研究科集談会「ヒトとイヌの共生とその互惠性について」菊水健史 先生（麻布大学獣医学部）	30 名
3. 教育改善・教育評価・FD に関する会議、委員会等の開催		

会議・委員会名	内容・開催日（複数回の場合は「第1回（*月*日）～ について」「第2回…」と記載）	委員の人数
学部・学類教育運営委員会	カリキュラムおよび授業実施方法等に関する検討（2024年2月15日）	8
CBT 運営委員会	CBT の実施および運営等に関する検討（2024年2月7日、メールによる検討は15回以上）	7
図書委員会	図書委員会を2回開催し、運営状況の確認、利用促進法等の協議（2023年7月7日、2023年9月20日）	6
4. 上記以外の教育改善・FDに関する取組（但し、成績 GP 分布関連は次項に） 特になし。		
5. 成績 GP 分布、GPC データの分析に関連する事柄（必ずご記入ください） 2023 年度の GPC 成績一覧表を教員間で共有し、その目的や意義等を再度、説明し、最適化に向けて情報共有を行い、改善について意見交換を行った。		
6. 年に1回以上、FD 活動に参加した専任教員の人数〔実数〕（必ずご記入ください） ・年に1回以上、FD 活動に参加した専任教員の人数 (44) 人 ・所属内の専任教員の人数 (44) 人		
7. その他、追記事項 ・卒研検討委員会（委員9名）にて、5月の獣医学演習の実施、そして12月の卒業研究発表会および学生の発表内容等について改善を図るために意見交換と討議を行い、その内容を教員会議で情報共有を行った。（1年間で数十回程度の打ち合わせを実施） ・OSCE 委員会（委員16名）では、2023 年度の OSCE 本試験の実施およびこれに向けた実習の改善と審査を担当する教員の訓練の実施等について、検討を行った。具体的には、主に委員長と4分野の責任者間でメールや電話連絡による打合せと情報共有を行った（1年間で数十回程度の打ち合わせを実施）。また、これ以外にも、各試験分野の実施内容について分野責任者が全大学の責任者と直接やり取りし、委員会で情報共有を行った。		